

## オイスカ中部日本研修センター設立 50 周年に寄せて



私は、フィジー人で Joseva Vurbere Nasese と言います。オイスカ中部日本研修センターに入所したのは、2015年の事でした。

私は、現在農家として有機野菜栽培（トマト、スイカ、ピーマン、パクチョイなど）を行っています。その他、地域の人たちと一緒に、村でキャッサバの栽培を行っています。農業以外では、オイスカと共にサンゴ礁の保全活動を行っています。住友生命保険相互会社によるサンゴ礁保全活動のプロジェクトが今年3月に終了しましたが、プロジェクト終了後も、サンゴ礁を保護していくことはとても重要なため、村の人たちともに月1～2回の割合で継続して活動を行っています。

オイスカ中部日本研修センターでの思い出は、豊田市だけでなく色々な所にあります。例えば、色々な国の研修生と共に富士山で植林活動を行ったことです。他に、広島にあるマツダ自動車の工場見学です。一日に沢山の車を生産している事にとっても驚き印象に残りました。日本の技術は、とても素晴らしいと思いました。更に、広島の平和公園（原爆跡地）、金閣寺、京都、大阪などです。

また、日本の食事は、大変美味しかったです。フィジーの料理と味は、全然違いましたがすべて美味しく食べることが出来ました。特に、味噌汁が大好きで、今でも時々食べたいと思って思い出しています。また、初めは卵かけごはんを食べる事にとっても抵抗がありましたが、段々慣れこれとても好きになりました。

日本で、勉強になった事としては、まず、有機野菜栽培です。土台に健康に良い食べ物生産の考え方がありました。液肥、ボカシ肥料、コンポストの作り方と有効性を知る事が出来ました。その他、野菜の栽培方法。例えば、支柱の立て方、黒いマルチングや銀色のマルチングをする事、接ぎ木などです。農業機械の使い方も習いました。ただ、現在でもフィジーでは、牛、馬もしくはスコップ、フォークを使って畑を耕やしますが、日本では、機械を使用し効率良く栽培をしていました。

気候では、やはり雪を見る事が出来た事が一番の思い出です。それから、日本の夏は、意外に暑かったです。蒸し暑かったです。

日本の国の精神文化としては、タイムマネジメントがしっかりしていることやまた日本人が礼儀正しく、勤勉であることに感銘を受けました。

最後に、オイスカ中部日本研修センター設立 50 周年へのお祝いの言葉を述べます。設立 50 周年、本当におめでとうございます。

私やフィジー人はラグビーがとても好きなので、2019年にワールドカップラグビーが豊田市で開催される時には、再度中部日本研修センターを訪問したいと思っています。また、スタッフの皆さんとお会いして懇親の機会を持ちたいと思っています。その日が来ることを大変楽しみにしています。